

2025年4月4日

各位

株式会社 北海道銀行

**株式会社公清企業と  
ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）を契約締結**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、株式会社公清企業（代表取締役社長 福田 年勝）と「ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）」<sup>※1</sup>の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

※1 [2021年9月16日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

## 記

**1. グリーンローンについて**

国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資であり、資金使途がグリーンプロジェクトの充実に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しております。

**2. 本件の概要**

借入人	株式会社公清企業
金額	700百万円
実行日	2025年3月28日（金）
資金使途	使用済紙おむつリサイクル工場の新設
貸付人	北海道銀行

株式会社公清企業は、1957年に札幌清掃企業組合として設立。現在は、廃棄物の収集・運搬から中間処理・リサイクル処理・最終処分を行うとともに、中間処理施設群「エコパーク」を有することで多様な廃棄物に対応しております。

設立当時の1950年代、し尿は貴重な肥料として使用されていたことから、「廃棄物は役に立つ」という精神が社内で共有されています。企業理念の中で「私たちは、環境保全の協働・連携を仲間と続ける。」と掲げてきたほか、2021年11月に「SDGs（持続可能な開発目標）」に賛同して実行していく宣言を行ったなかでも、「持続可能な社会への貢献」「環境への配慮」など、環境問題へ取り組む姿勢を明確にしていまいりました。

本件の資金は、主に石狩市で発生する使用済紙おむつを回収し、分別処理を行う「使用済紙おむつリサイクル専用工場の新設」に充当いたします。リサイクル装置「クリタサムズシステム」にて殺菌・洗浄・分解し、プラスチック類とパルプ類に分別処理することにより、再資源化を実現していく予定です。また、従来の「紙おむつ焼却」と比較して省エネ性能が高いことから、3,037t-CO<sub>2</sub>/年のCO<sub>2</sub>削減効果を見込んでおります。

この結果、同社がKPIとして掲げる「リサイクル事業推進による埋立最終処分場の延命化の維持・継続」と「事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減に向けた環境配慮の取り組み実施」の達成に向けて、カーボンニュートラルにつながる取り組みを実現してまいります。

### 3. 本ローンへの評価

本ローンは、ローン・マーケット協会（LMA）「グリーンローン原則 2023」との適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）より、総合評価「Green 1」とする評価レポートを取得しております。

### 4. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された 2030年までに達成すべき 17の目標と 169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行	経営企画部	サステナビリティ推進室	北谷	Tel(011)233-1009
	経営企画部	広報 CSR 室	坂野	Tel(011)233-1005